# ２０２１年３月期　第１四半期
# 決算説明資料

2020年７月31日

小田急電鉄株式会社

## 新型コロナウイルスの影響を受けた各事業の営業状況

odakyu

各事業の状況（４月～６月）

**運輸業**

- ■ 小田急電鉄 鉄道業
  通常運行（5月土休日特急運休）
- ■ バス
  一部ダイヤ変更
  高速バス路線など一部運休
- ■ 箱根観光船
  4/10~5/31運休
  6/1~減便ダイヤ
- ■ 箱根ロープウェイ
  4/10~5/29運休
  5/30~通常運行

| | 4～1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 通勤定期 | 3.1 | 2.7 | △ 8.7 | △ 17.0 | △ 22.0 | △ 16.4 |
| 定期外 | 1.0 | △ 2.5 | △ 33.6 | △ 69.3 | △ 66.2 | △ 35.7 |
| 定期・定期外計 | 2.1 | 0.5 | △ 23.9 | △ 51.1 | △ 50.3 | △ 31.5 |

**流通業**

- ■ 小田急百貨店
  4/8~5/25臨時休業(食品フロア除く)
  5/26~営業時間短縮し全フロア営業
- ■ ストア・小売業
  ストア店舗：営業時間短縮
  駅構内店舗：緊急事態宣言期間を中心に臨時休業

※町田店・ふじさわは、19年3月にリニューアルを実施

| | 3～1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 新宿店店頭 | △ 2.5 | △ 20.7 | △ 45.1 | △ 84.6 | △ 77.9 | △ 33.8 |
| 町田店 | △ 1.0 | 7.1 | △ 26.0 | △ 75.9 | △ 69.0 | △ 5.8 |
| ふじさわ | △ 29.5 | △ 4.3 | △ 20.5 | △ 55.2 | △ 52.9 | △ 9.0 |

2

Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

４月～６月における新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた営業状況等をセグメント別に示している。

運輸業では、当社鉄道業において一部特急を除き通常運行としたものの、外出自粛に伴い輸送人員が減少した。輸送人員の推移を月別に見ると、緊急事態宣言期間中は定期・定期外合計で半減したものの、６月は対前年△31.5%まで回復している。

なお、バス業では一部路線のダイヤ変更および減便を行っているほか、箱根観光船および箱根ロープウェイについても一時運休を行った。

流通業では、百貨店業において、緊急事態宣言の発出に伴い小田急百貨店全店舗で食品フロア以外を一時臨時休業とし、５月26日からは営業時間を短縮して営業を再開した。売上高の推移を月別に見ると、６月は郊外に立地する町田店とふじさわは大きく回復しているものの、新宿店は対前年△33.8%にとどまった。

なお、ストア・小売業については、ストア店舗の営業時間短縮や、緊急事態宣言期間を中心に一部駅構内店舗の臨時休業を行った。

## 新型コロナウイルスの影響を受けた各事業の営業状況

odakyu

| 各事業の状況（4月～6月） | |
|---|---|
| 不動産業 | ■ 不動産分譲業<br>緊急事態宣言期間を中心に販売センターや仲介店舗を臨時休業<br>■ 不動産賃貸業<br>商業施設<br>4/8~5/31臨時休業（一部施設・店舗を除く）<br>6/1~営業時間短縮し営業再開 |
| その他の事業 | ■ ホテル<br>シティホテル（ハイアット リージェンシー 東京、ホテルセンチュリーサザンタワー）<br>宿泊は通常営業<br>箱根リゾートホテル（山のホテル、箱根ハイランドホテル、ホテルはつはな）<br>4/26~5/31臨時休業<br>6/1~宿泊は通常営業<br>■ レストラン<br>緊急事態宣言期間を中心に臨時休業 |

Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

不動産業では、緊急事態宣言期間を中心に、不動産分譲業において販売センターや仲介店舗を臨時休業としたほか、不動産賃貸業において一部施設・店舗を除き商業施設の臨時休業を行った。商業施設は、営業時間を短縮して6月から営業を再開している。

その他の事業では、シティホテルの宿泊は通常通り営業していたものの、外国人宿泊者比率の高いハイアット リージェンシー 東京における宿泊稼働率は低位で推移しており、6月は6.4%となった。

なお、箱根エリアのリゾートホテルでは、一時臨時休業を行ったほか、レストラン業についても、緊急事態宣言期間を中心に臨時休業を行った。

## 連結損益計算書

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業収益 | 129,150 | 70,366 | △58,783<br>(△45.5%) |
| 運輸業 | 45,660 | 22,583 | △23,077 |
| 流通業 | 52,207 | 29,588 | △22,618 |
| 不動産業 | 13,601 | 11,619 | △1,982 |
| その他の事業 | 26,270 | 13,116 | △13,154 |
| 調整額 | △8,590 | △6,540 | +2,049 |
| 営業利益 | 13,766 | △14,482 | △28,249<br>(－) |
| 運輸業 | 9,767 | △10,932 | △20,699 |
| 流通業 | 819 | △1,393 | △2,213 |
| 不動産業 | 2,110 | 2,775 | +664 |
| その他の事業 | 1,053 | △4,944 | △5,998 |
| 調整額 | 15 | 12 | △2 |
| 経常利益 | 14,011 | △15,664 | △29,676<br>(－) |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 9,015 | △16,319 | △25,335<br>(－) |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、営業収益は対前年587億円減収の703億円、営業利益は対前年282億円減益となり144億円の損失となった。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年253億円減益となり163億円の損失となった。

# 営業外・特別損益

<営業外・特別損益>

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業外収益 | 2,208 | 1,745 | △462 | |
| 営業外費用 | 1,963 | 2,927 | +964 | |
| 特別利益 | 865 | 855 | △9 | 工事負担金等受入額　362（△468） |
| 特別損失 | 1,396 | 2,995 | +1,599 | 固定資産圧縮損　301（△520）<br>臨時休業による損失　2,475（+2,475）※ |

※ 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した償却費・賃借料等の固定費を「臨時休業による損失」として特別損失に計上

（参考）臨時休業による損失の内訳

（百万円）

| | |
|---|---|
| 運輸業 | 243 |
| 流通業 | 1,194 |
| 不動産業 | 460 |
| その他の事業 | 576 |
| 合計 | 2,475 |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

欄外の※印に記載のとおり、緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した償却費や賃借料等の固定費を、営業費から振り替え、「臨時休業による損失」として特別損失に計上している。セグメント別の内訳は、左下の表に記載の通り。

# 連結貸借対照表

odakyu

<連結貸借対照表>

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 第1四半期 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 131,791 | 164,779 | +32,988 | |
| 固定資産 | 1,196,512 | 1,198,249 | +1,737 | |
| 資産合計 | 1,328,303 | 1,363,029 | +34,725 | 現金及び預金　+45,458<br>受取手形及び売掛金　△8,734 |
| 流動負債 | 377,494 | 376,480 | △1,014 | |
| 固定負債 | 560,626 | 615,480 | +54,854 | |
| 負債合計 | 938,120 | 991,960 | +53,840 | 有利子負債　+80,369<br>支払手形及び買掛金　△12,009 |
| 純資産合計 | 390,183 | 371,068 | △19,114 | 利益剰余金　△19,975 |
| 負債純資産合計 | 1,328,303 | 1,363,029 | +34,725 | |

（参考）その他の財務情報

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 第1四半期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 現金及び預金 | 28,594 | 74,053 | +45,458 |
| 有利子負債 | 741,027 | 821,396 | +80,369 |
| 自己資本比率 | 29.1% | 27.0% | △2.1P |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

資産合計は、1兆3,630億円と、現金及び預金の増加などにより、前期末より347億円の増加となった。

負債合計は、9,919億円と、有利子負債の増加などにより、前期末より538億円の増加となった。

純資産合計は、3,710億円と、利益剰余金の減少などにより、前期末より191億円の減少となった。

## セグメント情報（運輸業）

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 45,660 | 22,583 | △23,077<br>(△50.5%) | |
| 鉄道業 | 34,699 | 17,169 | △17,530 | (△)外出自粛による利用者減<br>(△)台風19号による箱根登山鉄道一部区間運休 |
| バス業 | 9,743 | 5,618 | △4,125 | (△)外出自粛による利用者減<br>(△)一部ダイヤ変更・運休 |
| その他 | 2,153 | 708 | △1,444 | (△)4/10~5/29箱根ロープウェイ運休<br>(△)4/10~5/31箱根観光船運休 |
| 調整額 | △935 | △913 | +22 | |
| 営業利益 | 9,767 | △10,932 | △20,699<br>(−) | |
| 鉄道業 | 8,828 | △7,696 | △16,525 | |
| バス業 | 779 | △2,757 | △3,537 | |
| その他 | 187 | △752 | △939 | |
| 調整額 | △27 | 274 | +302 | (+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替 |

<フリーパス売上枚数（対前年）>

| | |
|---|---|
| 箱根フリーパス | △92.9% |
| 江の島・鎌倉フリーパス | △97.1% |

<小田急旅行センター利用者数（対前年）>

| | |
|---|---|
| 乗車券等の購入者 | △99.8% |

<箱根地区各社輸送人員（対前年）>

| | |
|---|---|
| 箱根登山鉄道(鉄道) | △70.5% |
| 箱根登山鉄道(ケーブルカー) | △85.6% |
| 箱根ロープウェイ | △88.4% |
| 箱根観光船 | △92.0% |
| 箱根登山バス(乗合業) | △54.1% |

<箱根エリアの営業収益（対前年）>

| 単位：百万円 | 2019年度 第１四半期 | 2020年度 第１四半期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 箱根エリア※ | 5,341 | 1,145 | △4,196 |
| 箱根登山鉄道（鉄道業） | 822 | 182 | △640 |

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています

(参考)・箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引き上げにより、2019年5月19日より箱根ロープウェイ運休（2019年10月26日より全線で運転再開）
・台風19号の影響により、2019年10月12日より箱根登山鉄道の箱根湯本駅～強羅駅間運休（2020年７月23日より全線で運転再開）


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

運輸業は、対前年で230億円の減収、206億円の減益となった。

新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛に伴い、当社鉄道業をはじめ各事業で輸送人員の減少や、箱根ロープウェイ等における緊急事態宣言期間を中心とした運休等の影響を受け、対前年で減収減益となった。

営業利益の「調整額」の増加は、臨時休業期間中に発生した固定費を営業費から特別損失へ振り替えたことによるものである。

右下に記載の箱根エリアの営業収益は、当社鉄道業の一部、箱根登山鉄道を含む箱根交通各社、箱根リゾートホテルの合算数値である。

外出自粛や箱根ロープウェイ等の運休に加え、昨年10月の台風19号の被害による箱根登山鉄道の一部区間運休等の影響により、対前年で41億円の減収となった。なお、一部区間を運休していた箱根登山鉄道は、7月23日より全線で運転を再開している。

# セグメント情報（運輸業）

<鉄道業：小田急電鉄　運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

| 単位：千人 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減 | |
|---|---|---|---|---|
| 定期 | 125,221 | 79,717 | △45,504 | (△36.3%) |
| 通勤定期 | 87,415 | 71,230 | △16,185 | (△18.5%) |
| 通学定期 | 37,806 | 8,487 | △29,319 | (△77.6%) |
| 定期外 | 75,100 | 31,949 | △43,151 | (△57.5%) |
| 合計 | 200,321 | 111,666 | △88,655 | (△44.3%) |

■ 運輸収入

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減 | |
|---|---|---|---|---|
| 定期 | 12,424 | 8,347 | △4,076 | (△32.8%) |
| 通勤定期 | 10,465 | 7,996 | △2,468 | (△23.6%) |
| 通学定期 | 1,958 | 350 | △1,607 | (△82.1%) |
| 定期外 | 18,156 | 6,907 | △11,249 | (△62.0%) |
| 旅客運輸収入計 | 30,580 | 15,254 | △15,325 | (△50.1%) |
| 運輸雑収 | 973 | 802 | △170 | (△17.6%) |
| 運輸収入合計 | 31,553 | 16,056 | △15,496 | (△49.1%) |

■ 営業費

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業費 合計 | 23,272 | 22,636 | △636 |
| 人件費 | 7,087 | 6,645 | △441 |
| 修繕費 | 1,148 | 1,280 | +132 |
| 動力費 | 1,450 | 1,311 | △139 |
| 固定資産除却費 | 242 | 225 | △16 |
| 減価償却費 | 5,999 | 6,081 | +81 |
| その他 | 7,343 | 7,092 | △251 |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

輸送人員は、外出自粛の影響を受け、対前年で定期合計が△36.3%、内訳として通勤定期が△18.5%、通学定期が△77.6%となった。定期外は△57.5%となり、合計で△44.3%となった。

運輸収入は、輸送人員の減少に伴い、定期合計は対前年で40億円の減収、内訳として、通勤定期が24億円の減収、通学定期が16億円の減収となった。定期外は、対前年で112億円の減収、定期・定期外の合計である旅客運輸収入の合計は153億円の減収となった。

右側に記載の営業費は、人件費や動力費等が減少したことにより、合計では対前年6億円の減少となった。

## セグメント情報（流通業）

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 52,207 | 29,588 | △22,618<br>(△43.3%) | |
| 百貨店業 | 34,949 | 15,450 | △19,498 | (△)4/8~5/25臨時休業（食品フロア除く）<br>(△)外出自粛による利用者減 |
| ストア・小売業 | 16,923 | 15,061 | △1,862 | (△)駅構内コンビニ利用者減、臨時休業<br>(+)内食需要増に伴うストア利用者増 |
| その他 | 1,950 | 1,727 | △223 | |
| 調整額 | △1,616 | △2,651 | △1,034 | |
| 営業利益 | 819 | △1,393 | △2,213<br>(−) | |
| 百貨店業 | 1,528 | △2,275 | △3,804 | |
| ストア・小売業 | 69 | △248 | △317 | |
| その他 | △40 | △78 | △38 | |
| 調整額 | △737 | 1,209 | +1,947 | (+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替<br>(+)白鳩のれん追加償却反動 |

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

| | | | |
|---|---|---|---|
| 百貨店業 | 新宿店 | 8,412 | (△64.8%) |
| | 店頭 | 7,175 | (△68.5%) |
| | 町田店 | 3,295 | (△55.9%) |
| | ふじさわ | 851 | (△42.3%) |
| その他 | | 2,890 | (+39.9%) |
| 合計 | | 15,450 | (△55.8%) |

<百貨店業：免税売上高（対前年）>

| | |
|---|---|
| 新宿店 | △91.6% |

<ストア・小売業： 小田急商事　ストア部門売上高　（対前年）>

| | |
|---|---|
| 全店 | +5.5% |
| 既存店 | +4.5% |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

流通業は、対前年で226億円の減収、22億円の減益となった。

百貨店業において、緊急事態宣言の発出に伴い、食品フロアを除く全てのフロアを臨時休業としたことや、外出自粛・入国制限に伴い顧客が減少したことなどの影響により流通業全体で減収減益となった。

一方で、右下に記載の小田急商事ストア部門の既存店売上高は、外出自粛に伴う内食需要の高まりによって、対前年で4.5%の増加となった。

## セグメント情報（不動産業）

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 13,601 | 11,619 | △1,982<br>(△14.6%) | |
| 不動産分譲業 | 3,650 | 2,816 | △833 | (△)販売戸数減 |
| 不動産賃貸業 | 10,669 | 13,506 | +2,837 | (△)商業施設臨時休業に伴う賃料減免<br>(+)会社分割による影響※ |
| 調整額 | △718 | △4,704 | △3,986 | (△)会社分割による影響※ |
| 営業利益 | 2,110 | 2,775 | +664<br>(+31.5%) | |
| 不動産分譲業 | △991 | 39 | +1,031 | (+)当社分譲用地売却 |
| 不動産賃貸業 | 3,101 | 2,268 | △832 | |
| 調整額 | 0 | 467 | +466 | (+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替 |

※ 2020年４月に小田急電鉄㈱は商業施設運営事業を会社分割し、㈱小田急SCディベロップメントを設立

<分譲業：小田急不動産　販売戸数>

| 単位：戸・区画 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 戸建 | 9 | 7 | △2 |
| マンション | 12 | 4 | △8 |
| 土地 | 5 | 8 | +3 |
| 合計 | 26 | 19 | △7 |

<会社分割による影響>

| | |
|---|---|
| 不動産賃貸業 | 13,506 |
| 小田急電鉄（うち小田急SCﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄからの賃料収入） | 3,989 |
| 小田急SCﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄ（テナントからの賃料収入） | 5,063 |
| その他 | 4,454 |
| 調整額 | △4,704 |
| 小田急電鉄（小田急SCﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄからの賃料収入） | △3,989 |
| その他 | △715 |

グループ内取引のため消去


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

不動産業は、対前年で19億円の減収、6億円の増益となった。

営業収益は、分譲業で販売戸数が減少したことや、賃貸業で緊急事態宣言の発出に伴い一部の商業施設を臨時休業し、入居テナントに対する賃料を減免したことなどから、減収となった。

欄外の※に記載の通り、当社は4月１日に商業施設運営事業を会社分割し、小田急SCディベロップメントを設立した。小田急SCディベロップメントは、当社より建物等を賃借しテナントへ転貸しているため、賃貸業の営業収益には当社と小田急SCディベロップメントの賃料収入が含まれており、対前年で増加しているが、右下の図に記載の通り、当社の小田急SCディベロップメントに対する営業収益は「調整額」により消去されている。

これら調整額を不動産分譲業と不動産賃貸業に分け、それぞれを合算した実質的な営業収益は、不動産分譲業で対前年5億円の減収、不動産賃貸業で対前年14億円の減収となる。

なお、営業利益は、分譲業で当社分譲用地を売却したことなどにより増益となった。

（参考）

| | 営業収益 | 調整額 | 実質的な営業収益 | 対前年増減※ |
|---|---|---|---|---|
| 分譲業 | 2,816 | △12 | 2,804 | △535 |
| 賃貸業 | 13,506 | △4,692 | 8,814 | △1,448 |

※前年の営業収益についても調整額を合算した数値を用い、対前年増を算出

## セグメント情報（その他の事業）

| 単位：百万円 | 2019年度 第1四半期 | 2020年度 第1四半期 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 26,270 | 13,116 | △13,154<br>(△50.1%) | |
| ホテル業 | 7,899 | 1,790 | △6,108 | (△)4/26~5/31箱根リゾートホテル臨時休業<br>(△)外出自粛による利用者減 |
| レストラン業 | 5,114 | 1,578 | △3,536 | (△)臨時休業<br>(△)外出自粛による利用者減 |
| その他 | 14,847 | 10,322 | △4,524 | (△)外出自粛による利用者減（旅行業等）<br>(△)リゾート人材派遣需要減 |
| 調整額 | △1,591 | △575 | +1,015 | |
| 営業利益 | 1,053 | △4,944 | △5,998<br>(−) | |
| ホテル業 | 209 | △3,484 | △3,693 | |
| レストラン業 | 100 | △1,441 | △1,542 | |
| その他 | 908 | △477 | △1,385 | |
| 調整額 | △164 | 458 | +623 | (+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替 |

<ホテル業：外国人宿泊者比率 >

| | 2019年度<br>第1四半期 | 2020年度<br>第1四半期 | 対前年 |
|---|---|---|---|
| ハイアット リージェンシー 東京 | 79.2% | 19.7% | △59.5P |
| ホテルセンチュリーサザンタワー | 74.1% | 0.6% | △73.5P |

<ホテル業：客室稼働率 >

| | 2019年度<br>第1四半期 | 2020年度<br>第1四半期 | 対前年 |
|---|---|---|---|
| ハイアット リージェンシー 東京 | 86.1% | 5.0% | △81.1P |
| ホテルセンチュリーサザンタワー | 92.5% | 4.3% | △88.2P |
| 山のホテル | 80.4% | 26.7% | △53.7P |
| 箱根ハイランドホテル | 74.4% | 25.2% | △49.2P |
| ホテルはつはな | 82.9% | 31.5% | △51.4P |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

その他の事業は、対前年で131億円の減収、59億円の減益となった。

ホテル業における外出自粛や入国制限に伴う顧客の減少に加え、レストラン業における一部店舗の臨時休業等の影響により、減収減益となった。

右下に記載のホテル業の客室稼働率は、外国人宿泊者比率の高いシティホテルで低下が顕著となっている。

## 業績予想の前提条件

・新型コロナウイルス感染症の拡大第２波等に起因する再度の緊急事態宣言が発出されず、感染症対策の継続等により現状の事業環境が継続できることを前提としています。
・参考として、下記に当初想定と比較した回復見込の推移をセグメントごとに示しています。

（参考）

| | |
|---|---|
| 運輸業 | ■ 小田急電鉄 鉄道業<br>９月まで６月と同水準で推移し、その後回復基調になり３月時点で当初想定の９割程度まで回復<br>■ バス業<br>３月時点で当初想定の９割程度まで回復<br>■ 箱根（交通各社）<br>３月時点で当初想定の７割程度まで回復 |
| 流通業 | ■ 百貨店業<br>当初想定の８割程度で推移<br>■ ストア・小売業<br>２月時点で当初想定程度まで回復 |
| 不動産業 | ■ 不動産賃貸業<br>当初想定の８割程度で推移 |
| その他の事業 | ■ ホテル業<br>３月時点で当初想定の６割程度まで回復<br>■ レストラン業<br>３月時点で当初想定の８割程度まで回復 |

※ 実際の感染拡大の状況や消費動向等により当業績予想は大きく変動する可能性があります。
今後の動向を踏まえ、当業績予想について再度修正が必要となる場合には速やかに開示します。


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

今回公表する業績予想は、感染拡大第2波等に起因する再度の緊急事態宣言が発出されず、感染症対策の継続等により現状の事業環境が継続できることを前提としている。

また参考として、業績予想の前提条件となる今後の回復トレンドの考え方をセグメントごとに示している。

なお、実際の感染症の影響や消費動向等により当業績予想は大きく変動する可能性があり、今後の動向を踏まえ、当業績予想について再度修正が必要となる場合には速やかに開示する。

## 連結業績予想

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業収益 | 534,132 | 400,600 | △133,532<br>(△25.0%) |
| 運輸業 | 173,174 | 127,600 | △45,574 |
| 流通業 | 206,563 | 164,000 | △42,563 |
| 不動産業 | 80,478 | 67,800 | △12,678 |
| その他の事業 | 112,256 | 70,200 | △42,056 |
| 調整額 | △38,340 | △29,000 | +9,340 |
| 営業利益 | 41,103 | △28,400 | △69,503<br>(−) |
| 運輸業 | 21,641 | △20,900 | △42,541 |
| 流通業 | 4,373 | △4,200 | △8,573 |
| 不動産業 | 12,940 | 13,200 | +259 |
| その他の事業 | 2,090 | △16,600 | △18,690 |
| 調整額 | 58 | 100 | +41 |
| 経常利益 | 38,299 | △33,100 | △71,399<br>(−) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 19,923 | △32,100 | △52,023<br>(−) |
| 減価償却費 | 49,628 | 51,900 | +2,271 |
| 設備投資額 | 91,599 | 78,800 | △12,799 |
| 有利子負債残高 | 741,027 | 814,600 | +73,572 |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

営業収益は対前年1,335億円減収の4,006億円、営業利益は対前年695億円減益により284億円の営業損失を見込んでいる。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は520億円減益により321億円の損失を見込んでいる。

## セグメント別業績予想（運輸業）

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 173,174 | 127,600 | △45,574<br>(△26.3%) | |
| 鉄道業 | 132,083 | 97,700 | △34,383 | (△)外出自粛による利用者減 |
| バス業 | 37,787 | 28,800 | △8,987 | (△)外出自粛による利用者減 |
| その他 | 7,677 | 5,100 | △2,577 | |
| 調整額 | △4,373 | △4,000 | +373 | |
| 営業利益 | 21,641 | △20,900 | △42,541<br>(−) | |
| 鉄道業 | 22,043 | △11,100 | △33,143 | |
| バス業 | 32 | △8,000 | △8,032 | |
| その他 | △450 | △2,100 | △1,649 | |
| 調整額 | 16 | 300 | +283 | (+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替 |
| 減価償却費 | 32,392 | 33,500 | +1,107 | |
| 設備投資額 | 40,940 | 38,500 | △2,440 | |

＜箱根エリアの営業収益（対前年）＞

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 箱根エリア※ | 17,708 | 10,823 | △6,884 |
| 箱根登山鉄道（鉄道業） | 2,670 | 1,761 | △909 |

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

当社鉄道業では、9月までは6月同水準、その後回復基調になり3月時点で当初想定の9割程度まで回復、バス業では3月時点で当初想定の9割程度まで回復、箱根エリアの交通各社では3月時点で当初想定の7割程度まで回復するものと想定している。

以上の前提のもと、運輸業全体では、各事業で外出自粛に伴う輸送人員の減少等の影響により、営業収益は対前年455億円減収の1,276億円、営業利益は対前年425億円減益により209億円の営業損失を見込んでいる。

## セグメント別業績予想（運輸業）

odakyu

<鉄道業：小田急電鉄　運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

| 単位：千人 | 2019年度 | 2020年度 | 増減 | | 上期 | 下期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 定期 | 477,738 | 374,147 | △103,591 | (△21.7%) | (△32.9%) | (△9.0%) |
| 通勤定期 | 349,361 | 309,039 | △40,322 | (△11.5%) | (△18.1%) | (△4.6%) |
| 通学定期 | 128,377 | 65,108 | △63,269 | (△49.3%) | (△68.9%) | (△22.7%) |
| 定期外 | 287,589 | 211,588 | △76,001 | (△26.4%) | (△44.1%) | (△6.9%) |
| 合計 | 765,327 | 585,735 | △179,592 | (△23.5%) | (△37.1%) | (△8.2%) |

■ 運輸収入

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減 | | 上期 | 下期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 定期 | 48,354 | 38,696 | △9,658 | (△20.0%) | (△30.5%) | (△8.5%) |
| 通勤定期 | 41,755 | 35,645 | △6,109 | (△14.6%) | (△22.7%) | (△6.1%) |
| 通学定期 | 6,599 | 3,050 | △3,549 | (△53.8%) | (△74.3%) | (△25.8%) |
| 定期外 | 68,951 | 48,465 | △20,486 | (△29.7%) | (△48.6%) | (△8.6%) |
| 旅客運輸収入計 | 117,306 | 87,161 | △30,145 | (△25.7%) | (△41.2%) | (△8.5%) |
| 運輸雑収 | 3,798 | 3,196 | △602 | (△15.9%) | (△16.7%) | (△15.1%) |
| 運輸収入合計 | 121,105 | 90,357 | △30,747 | (△25.4%) | (△40.4%) | (△8.8%) |

■ 営業費

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業費 合計 | 98,801 | 98,172 | △629 |
| 人件費 | 28,393 | 28,690 | +297 |
| 修繕費 | 8,603 | 7,571 | △1,031 |
| 動力費 | 5,879 | 5,541 | △337 |
| 固定資産除却費 | 1,391 | 1,007 | △383 |
| 減価償却費 | 24,628 | 25,234 | +605 |
| その他 | 29,906 | 30,126 | +220 |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

当社鉄道業については、９月までは6月同水準、その後回復基調になり3月時点で当初想定の9割程度まで回復するという前提のもと、輸送人員は、対前年で定期が△21.7%、内訳として通勤定期が△11.5%、通学定期が△49.3%、定期外が△26.4%、定期・定期外の合計で△23.5%を見込んでいる。

また、運輸収入は、定期・定期外を合わせた旅客運輸収入計で301億円の減収、運輸雑収を含めた運輸収入合計で307億円の減収を見込んでいる。

営業費は、退職給付費用の増加による人件費の増加、昨年度の設備投資に伴う償却費の増加があるものの、修繕費の削減や動力費の減少により、合計で6億円の減少を見込んでいる。

## セグメント別業績予想（流通業）

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 206,563 | 164,000 | △42,563<br>(△20.6%) | |
| 百貨店業 | 136,775 | 100,900 | △35,875 | (△)臨時休業（食品フロア除く）<br>(△)外出自粛による利用者減 |
| ストア・小売業 | 68,258 | 64,400 | △3,858 | (△)駅構内コンビニ利用者減、臨時休業 |
| その他 | 8,022 | 7,900 | △122 | |
| 調整額 | △6,492 | △9,200 | △2,707 | |
| 営業利益 | 4,373 | △4,200 | △8,573<br>(−) | |
| 百貨店業 | 4,391 | △3,800 | △8,191 | |
| ストア・小売業 | 154 | △1,000 | △1,154 | |
| その他 | △134 | △300 | △165 | |
| 調整額 | △37 | 900 | +937 | (+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替 |
| 減価償却費 | 3,791 | 4,100 | +308 | |
| 設備投資額 | 5,498 | 6,800 | +1,301 | |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

百貨店業は、当初想定の8割程度で推移、ストア・小売業は2月時点で当初想定程度まで回復するものとしている。

以上の前提のもと、流通業全体では、外出自粛や入国制限に伴う顧客の減少等の影響により、営業収益は対前年425億円減収の1,640億円、営業利益は対前年85億円減益により42億円の営業損失を見込んでいる。

## セグメント別業績予想（不動産業）

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 80,478 | 67,800 | △12,678<br>(△15.8%) | |
| 不動産分譲業 | 40,902 | 30,000 | △10,902 | (△)販売戸数減 |
| 不動産賃貸業 | 44,044 | 55,400 | +11,355 | (△)商業施設臨時休業に伴う賃料減免<br>(+)会社分割による影響※ |
| 調整額 | △4,468 | △17,600 | △13,131 | (△)会社分割による影響※ |
| 営業利益 | 12,940 | 13,200 | +259<br>(+2.0%) | |
| 不動産分譲業 | 866 | 600 | △266 | |
| 不動産賃貸業 | 11,315 | 11,800 | +484 | |
| 調整額 | 758 | 800 | +41 | |
| 減価償却費 | 9,374 | 9,900 | +525 | |
| 設備投資額 | 29,547 | 28,100 | △1,447 | |

※ 2020年４月に小田急電鉄㈱は商業施設運営事業を会社分割し、㈱小田急SCディベロップメントを設立

<分譲業：小田急不動産　販売戸数>

| 単位：戸・区画 | 2019年度 | 2020年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 戸建 | 125 | 95 | △30 |
| マンション | 268 | 182 | △86 |
| 土地 | 22 | 39 | +17 |
| 合計 | 415 | 316 | △99 |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

不動産賃貸業については、当初想定の8割程度で推移するという前提のもと、不動産業全体では、分譲業における販売戸数の減少や、賃貸業における緊急事態宣言下の商業施設の臨時休業に伴う賃料減免等の影響により、営業収益は対前年126億円減収の678億円を見込んでいる。一方、営業利益は費用の削減により対前年2億円増益の132億円を見込んでいる。

なお、前年に対して営業収益の不動産賃貸業が大きく増加し、調整額が大きく減少しているのは、第１四半期実績と同様に当社が商業施設運営事業を会社分割し、小田急SCディベロップメントを設立したことによるものである。当社の小田急SCディベロップメントに対する営業収益は「調整額」により消去されている。

これら調整額を不動産分譲業と不動産賃貸業に分け、それぞれを合算した実質的な営業収益は、不動産分譲業で対前年9億円の減収、不動産賃貸業で対前年36億円の減収となる。

（参考）

| | 営業収益 | 調整額 | 実質的な営業収益 | 対前年増減※ |
|---|---|---|---|---|
| 分譲業 | 30,000 | △500 | 29,500 | △9,061 |
| 賃貸業 | 55,400 | △17,100 | 38,300 | △3,618 |

※前年の営業収益についても調整額を合算した数値を用い、対前年増を算出

## セグメント別業績予想（その他の事業）

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 | 2020年度 | 増減・主な要因 | |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 112,256 | 70,200 | △42,056<br>(△37.5%) | |
| ホテル業 | 31,839 | 14,200 | △17,639 | (△)外出自粛による利用者減 |
| レストラン業 | 19,458 | 12,900 | △6,558 | (△)臨時休業<br>(△)外出自粛による利用者減 |
| その他 | 67,784 | 46,200 | △21,584 | (△)外出自粛による利用者減（旅行業等）<br>(△)リゾート人材派遣需要減 |
| 調整額 | △6,826 | △3,100 | +3,726 | |
| 営業利益 | 2,090 | △16,600 | △18,690<br>(－) | |
| ホテル業 | △2,070 | △12,000 | △9,929 | |
| レストラン業 | △136 | △2,800 | △2,663 | |
| その他 | 4,954 | △1,900 | △6,854 | |
| 調整額 | △657 | 100 | +757 | |
| 減価償却費 | 4,151 | 4,500 | +348 | |
| 設備投資額 | 15,612 | 5,400 | △10,212 | |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ホテル業は3月時点で当初想定の6割程度まで回復、レストラン業は3月時点で当初想定の8割程度まで回復すると想定している。

以上の前提のもと、その他の事業全体では、外出自粛や入国制限に伴う顧客の減少等の影響により、営業収益は対前年420億円減収の702億円、営業利益対前年186億円減益により166億円の損失を見込んでいる。

# （参考）上期 連結業績予想

odakyu

| 単位：百万円 | 2019年度 上期 | 2020年度 上期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業収益 | 261,766 | 168,700 | △93,066 (△35.6%) |
| 運輸業 | 91,364 | 53,400 | △37,964 |
| 鉄道業 | 69,738 | 40,600 | △29,138 |
| バス業 | 19,613 | 12,800 | △6,813 |
| その他 | 3,951 | 2,000 | △1,951 |
| 調整額 | △1,938 | △2,000 | △61 |
| 流通業 | 103,270 | 72,900 | △30,370 |
| 百貨店業 | 68,450 | 41,700 | △26,750 |
| ストア・小売業 | 33,973 | 31,000 | △2,973 |
| その他 | 4,081 | 3,800 | △281 |
| 調整額 | △3,234 | △3,600 | △365 |
| 不動産業 | 30,775 | 25,400 | △5,375 |
| 不動産分譲業 | 11,074 | 7,500 | △3,574 |
| 不動産賃貸業 | 21,598 | 25,100 | +3,501 |
| 調整額 | △1,897 | △7,200 | △5,302 |
| その他の事業 | 54,109 | 29,300 | △24,809 |
| ホテル業 | 15,917 | 4,600 | △11,317 |
| レストラン業 | 10,176 | 4,900 | △5,276 |
| その他 | 31,081 | 21,100 | △9,981 |
| 調整額 | △3,066 | △1,300 | +1,766 |
| 調整額 | △17,753 | △12,300 | +5,453 |

| 単位：百万円 | 2019年度 上期 | 2020年度 上期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業利益 | 25,657 | △25,800 | △51,457 (－) |
| 運輸業 | 17,564 | △17,600 | △35,164 |
| 鉄道業 | 16,635 | △11,400 | △28,035 |
| バス業 | 1,166 | △5,100 | △6,266 |
| その他 | △137 | △1,400 | △1,262 |
| 調整額 | △99 | 300 | +399 |
| 流通業 | 1,797 | △3,900 | △5,697 |
| 百貨店業 | 2,599 | △3,800 | △6,399 |
| ストア・小売業 | 7 | △700 | △707 |
| その他 | △82 | △200 | △117 |
| 調整額 | △727 | 800 | +1,527 |
| 不動産業 | 4,500 | 5,000 | +499 |
| 不動産分譲業 | △1,576 | △900 | +676 |
| 不動産賃貸業 | 6,075 | 5,700 | △375 |
| 調整額 | 1 | 200 | +198 |
| その他の事業 | 1,764 | △9,400 | △11,164 |
| ホテル業 | △287 | △6,700 | △6,412 |
| レストラン業 | 128 | △1,900 | △2,028 |
| その他 | 2,250 | △1,200 | △3,450 |
| 調整額 | △326 | 400 | +726 |
| 調整額 | 30 | 100 | +69 |


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.

■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を弊社ウェブサイト「決算短信」（https://www.odakyu.jp/ir/financial/settle/）に掲載しています。

・決算短信
・決算説明資料（解説付）
・決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。
したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社


Copyright 2020 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.